

国鉄労働組合 北陸地方本部

(NTT)076-231-1506(FAX)076-231-1114(JR)065-2393

(Mail)nru-hk@m2.spacelan.ne.jp

発行人	藤野能章
編集人	山田輝男

第82回定期地方大会開催！**つくろう職場に労働運動を！！**

大会議長に齋藤氏選出
大会は土合副委員長長の司会で始まり、議長には福井県支部の齋藤代議員が選出され議事が進められました。



国労北陸地方本部は、8月24日、石川県平和と労働会館において第82回定期地方大会を開催しました。大会では、一年間の闘いの総括を行い、安全輸送の確立、労働条件改善、2026年春闘勝利、機関活動の活性化、組織強化・拡大、シニア社員の待遇改善、原発再稼働反対、憲法改悪など闘う運動方針を確立しました。



執行部を代表し、藤野委員長が挨拶に立ち、「去る6月5日、JR西日本会社は外部に委託している「安全管理体制第三者評価報告書」を公表した。この中で、2023年1月24日に発生した雪害による京都地区を中心とした輸送障害において、その後の会議等で当時の社長以下会社の幹部が、会議の場で、部下に対して厳しい叱責を行っていた事が明らかとなった。会社は「八つの視点」を自ら破っている。安全の重要性などの口が言っているのかと強い口調で批判した。

来賓として西日本本部から大北新書記長が参加し、上部機関の定期大会、技術継承問題、ローカル線問題、組織拡大、世界の平和の実現について述べました。

貨物の上場の話を聞かなくなった
代議員からは、ここ近年貨物の上場の話を聞かなくなった。何のための経営計画なのか、全く展望が見えない。能登半島地震の影響を受けて、高岡貨物駅の地盤沈下がひどい。新湊線は3年後あいの風にそのまま引き取ってもらえるのか。

新幹線の交番検査を38℃くらいの環境の中で行っている、作業環境について若い社員とつながりを深めている。

北陸地新幹線の敦賀から先の延伸について、小浜ルートで京都駅乗り入れについて、京都には反対する組織が多数存在しているが、その組織と意見交換できるような場を、国労でつくることはできないかなどの、意見がだされました。運動方針・財政は採択され、最後に藤野委員長のカンパローで大会を終りました。

**2025年度 新役員・任務分担**

執行委員長	藤野 能章	(再)	○総括、総務、退職者、政治
執行副委員長	土合 聡	(再)	○業務部長、新幹線対策、法対、企画、家族会
書記長	太田 茂雄	(再)	○企画部長、組織部長、貨物担当部長、国労会館、共闘、共済
執行委員	山田 輝男	(再)	○財政部長、教宣部長、業務、法対
	山村 実	(再)	○業務、組織、調査、新幹線対策
会計監査員	堂前 一訓	(再)	
	後藤 通広	(再)	

